

## ド ラ ム タ オ DRUM TAOが安田小で授業

世界を舞台に活躍する和太鼓エンターテインメント集団DRUM TAOのメンバー9人が11月20日、安田小学校で授業を行いました。

授業には、安田小5年生13人と井尻小3～6年生20人が参加。メンバーに指導を受けながら和太鼓でTAOの曲「フェスタ」に挑戦しました。

児童らは3グループに分かれ、それぞれのリズムを練習。本番ではTAOの水藤義徳さんが3つのグループを指揮すると、単調なリズムが合わさって一つの曲となりました。演奏中にはメンバーが笛や殺陣のパフォーマンスで登場し、児童と共に盛大な「フェスタ」を作りあげました。児童たちはプロの奏者とともに夢のような時間を過ごしました。



▲TAOのメンバーが直接指導しました。

## 安来分教室・地域参観日で 日ごろの学習を紹介

県立松江養護学校安来分教室の地域参観日が11月30日に開催され、地元の企業や関係者など約40人が参観に訪れました。地域の人に学習内容を知ってもらおうと開催しており、今年で3回目。

安来高校内にある安来分教室では現在20人の生徒が、地域の中で生活しながら働き続けるための学習に取り組んでいます。授業でとくに力を入れているのが、実際に一般の事業所で職業体験をする現場実習。今回はその学習成果を生徒が説明したり、軽作業の様子や授業で取り組んでいる食品加工の実習棟を見学したりしました。

参観した株式会社サン・フードやすぎの成田浩一さんは「皆さんは楽しく、積極的に学ぼうとしていると感じました。同じ食品製造業として、食品の加工をどのように勉強しているのかよくわかりました」と話していました。



まちの話題や出来事をご紹介します



清水寺古道ウォークを11月18日に開催。雨の中の大会となりましたが、参加者は濡れて鮮やかになった紅葉を楽しみながら歩いていました。

今月の一枚



▼安来分教室では地域の企業・農家での職場体験のほか、農園芸や食品加工、小物づくり、パソコンなどの学習に取り組んでいます。





▲体験事業も多く実施。ベビリーフの鉢植えも。

▼苗木配布では、かりん、ひめしゅらなど5種を用意。長蛇の列ができました。



## 安来の農林産物がズラリ

市内の農林業へ理解や関心を深めていただくための安来市農林業祭が11月19日、安来市役所伯太庁舎で開催されました。

地元産の新鮮野菜のほか、お米、中海産赤貝、木製品、スイーツなどが勢ぞろい。また、ドジョウ・イノシシ汁の振る舞い、苗木配布とバターづくり体験などが行われ、人気を集めました。

ドジョウ汁を食べた神野翔大くん(社日小)は、「骨がやわらかくておいしい。安来のドジョウは大好きです」と話していました。

## 新しい木戸橋に夢を描く

河川工事に伴う橋の架け替え工事が進められている木戸橋に11月29日、近くの安来幼稚園児が絵を描きました。

清掃や美化活動などに取り組む「木戸川を美しくする会(福島幸男会長)」が、新しい橋の思い出づくりにと県と工事会社の協力を得て企画。28人の年長園児たちは、アスファルト舗装前の橋の上面いっぱい、キャラクターや似顔絵、手形などをカラフルに仕上げていきました。細田季依さん(5歳)は「楽しかった。完成した橋を早く渡ってみたい」と話してくれました。



▲全長16m、幅10mの新木戸橋は平成30年3月に完成予定。

## 吉佐町少年夜警団が一日消防士

少年夜警団で活動している吉佐町子供の7人が、11月13日に「一日消防士」を体験しました。秋の火災予防運動週間にあわせ企画されたもので、防火・防災の意識を高めたり、消防活動に親しんでもらったりすることを目的としています。

団員たちは市消防本部で消防業務や庁舎説明を聞いた後、防火衣を身にまとい放水体験やはしご車の搭乗に挑戦。また、ショッピングセンターでの広報活動なども行い、市民に火災予防を呼びかけました。



▲同夜警団は夏休みに「火の用心」を呼びかける活動に取り組んでいます。



▶講演を行う若松氏。

## 熱意とアイデアで地域おこし

行政と地域、関係団体などが連携したまちづくりを行うための研修会が11月19日、安来中央交流センターで開催され、自治会や交流センターなどから46人が参加しました。

会では地域おこしのスペシャリスト、若松進一さんが講演。若松さんは愛媛県双海町役場に在職中、瀬戸内海に落ちる夕日に着目。夕日をテーマにしたまちづくりに尽力し、年間55万人が訪れる観光地に仕立て上げました。若松さんは、「地域資源はどこにでもある。どんなストーリーを描くかが重要。熱意とアイデアさえあれば、どの地域にも可能性はある」と激励しました。